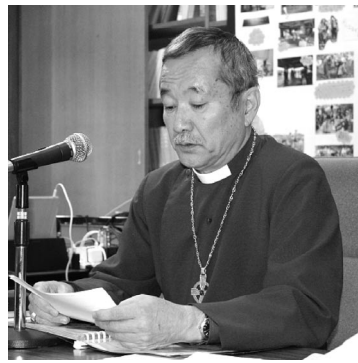


神戸教区第79定期教区会

教区主教開会演説

神戸教区 主教 アンデレ 中村 豊



I 人の動き

2010年4月に大幅な教役者人事異動を実施しましたから、今年4月は小幅な移動となりました。與賀田光嗣司祭は、高知聖パウロ教会牧師と松山聖アンデレ教会管理牧師に就任し、今年3月ウイリアムス神学館を卒業した池澤隆輝聖職候補生は、神戸聖ミカエル教会に勤務しました。退職後の10年間、大洲聖公会の宣教牧会に尽くされた佐藤眞一司祭は、広島に転居され、角瀬克己司祭が大洲聖公会管理牧師に就任しました。呉信愛教会の任を終えられた松尾

常雄司祭は、4月はじめ、ブラジルに帰国されましたが、その後任として、長田吉史司祭が牧師として就任しました。神戸聖ミカエル教会信徒浪花朋久兄は、教区神学生として4月、ウイリアムス神学館に入学しました。

先輩聖職の計報を報告しなければなりません。4月22日、トマス入交源治司祭が逝去され、小池俊男主教は7月27日(木)逝去、マツテヤ末永恵司祭は、7月19日(火)逝去されました。

次に、来年度4月の教役者人事についてですが、岡山聖オーガスチン教会牧師伊神努司祭は、健康上の理由により来年3月をもって退職されます。これに伴い、高松聖ヤコブ教会牧師角瀬克己司祭が、岡山聖オーガスチン教会管理牧師に、九年間立教学院に出向していた柳本博人司祭が、神戸教区に復帰し、松山聖アンデレ教会牧師・大洲聖公会管理牧師に就任します。広島

復活教会信徒歳實勲兄は、神戸教区神学生に認可され、4月よりウイリアムス神学館での学びが開始されます。

II 行事報告

1. 阪神・淡路大震災16年記念礼拝

1月17日(月)神戸聖ヨハネ教会で教区主催の礼拝として行われ、神戸伝道区内牧師全員が出席、共に震災犠牲者の為に祈りを献げました。

2. 広島平和礼拝2011

8月5日(金)、午後一時から佐伯啓子さん(広島復活教会信徒)による被爆体験を聞いた後、分科会に別れ、平和について分かち合い、午後5時からおこなわれた広島平和公園での「祈りのつどい」では、私がメッセージを述べ、原爆死没者へ追悼の祈りを献げ、献水の後、カトリックの人たちと共に、約100名の聖公会関係者がカトリック広島平和記念聖堂に向けて行進し、「平和祈願ミサ」に参加しました。翌6日(土)の原爆記念日、午前8時から広島復活教会で、原爆犠牲者追悼聖餐式をおこない、三鍋裕横浜教区主教が説教されました。

3. 第48回神戸教区中学生大会

「つながり」をテーマに、8月16日(火)〜19日(金)、徳島県立牟岐少年自然の家で開催され、東日本大震災被災地域の東北教区から中学生2名と聖職候補生1名が参加し、中高生約40人、キャンプ・サーバー、教役者約30人が集まりました。

4. 東日本大震災関連報告

3月11日に発生した大震災により、甚大な被害が東北・北関東教区にもたらされたが、神戸教区ではいち早く被災者救援本部を設置し、救援活動を開始し、今日に至っております。詳細については教区会報告書を御覧下さい。

III その他報告

1. 大聖堂地下ホール改修工事

9月16日(金)、神戸聖ミカエル教会が改修費用を拠出してくださった工事が完了しました。これによって、ホールの利便性が格段に向上し、様々な集会に対応できる体制が整いました。

2. ハラスメント

セクシャル・ハラスメント対策委員会は、ハラスメントへの理解を深めるための啓発活動を実施してきましたが、ハラスメント全般を取り扱う機関創設に向け、一年間の調査、研究を実施した結果、今教区会でハラスメント対策委員会設置の議案を上程する運びとなりました。人間の尊厳を損ないかねない言動・ハラスメントが、キリスト者の交わりを阻害する大きな要因となっております。引き続き、伝道区・教会における啓発活動を実施し、防止に努める努力を怠ってはなりません。

IV 神戸教区宣教140年に向けての課題

1. 2013年、宣教ビジョン策定に向けて

(1) 教区宣教協議会

昨年度教区会において、各教会の宣教活動を支援するため、宣教委員会が設置され、教区内各教会宣教の見直しの第一歩が踏み出されました。これを踏まえて、7月18日(月)聖ミカエル大聖堂で、約90名の教役者・信徒が集い、協議会が開催されました。参

加者は、全聖公会の五つの宣教指標についての理解を深め、教会は、「宣教活動・福祉活動・教育活動・社会・政治活動」を担っていることを再確認し、各教会の宣教ビジョン作成のための作業手順を学びました。

(2) 教会の現状把握
協議会出席の信徒と教役者は、ここで学んだ事柄を各教会に持ち帰り、教会の状況に応じた宣教活動について、教会信徒と分かち合うことが期待されており。宣教委員会の調査では、現在、7、8教会で、宣教協議会がもたれ、宣教活動の見直し作業が続けられております。宣教委員会では、アンケートや牧師の聞き取り調査などを通して、ビジョン策定の進捗状況の把握につとめております。

(3) 教会宣教協議会
教会の宣教に関しては、牧師や教会委員など、ごく少数の人たちだけが現状を把握しておりますが、他の信徒と顔と顔をあわせて、自教会の宣教問題を分かち合う機会がなかなか得られていないと推測します。その一方、教会の人材や財政に問題が生じた場合、誰かが解決してくれるであろうという楽観主義、依存体質

が、教会の力を次第に弱体化させる要因となっている事実はありません。沈滞ムードが漂う教会の現状打破には多くの時間と労力、説得が必要ですが、真正面からこれに取り組むためには、真摯な祈りと決断、勇気が必要です。

教会の現状を様々な角度から把握し、宣教について、新たな視点に立つためには、教会にかかわる、より多くの人たちの、生の声を聞く必要がありますが、その場を「教会宣教協議会」といいます。表現をかえますと、「教会の宣教を考える会」「自分の教会について、もっと知ろう会」「私たちの教会を生かす会」「明日の教会を築く会そのII」となるでしょう。

(4) 2013年各教会受聖餐者総会
教会の宣教について分かち合いをした結果、牧師を筆頭に信徒が協働して、長・中期の展望が開けることを期待します。その展望を具体的、現実的、平易なことばで表現するのがビジョンです。このビジョンは、具体的な行動となって年間行事計画に反映され、予算化されます。

各教会におかれましては、2013年受聖餐者総会まで

に、ビジョン策定をお願いします。策定課程では、多くの困難が予想されますが、宣教委員会では、万全の体制を整えて、その支援にあたる所存です。

2. 教区史編纂
神戸教区には、正式な教区史が存在しません。従いまして、五年後の神戸教区宣教140年の年に教区140年史発行をめざし、来年度から本格的に準備を進める予定です。編纂に当たり、問題の一つに、委員会の報告内容があげられます。

教区会に提出される報告書は、数十年來、日時、出席者、協議・決議事項を記すのが慣例です。教区会の席上、質問、意見などがあれば、各部署が何を実施してきたか、何が課題として次年度に残されているか、などが明白になります。これを知らなければならないのは教区会議事録を閲覧する必要があり、外部に公表されることはまれです。神戸教区の現状を把握し、将来の歩みを明確にするためには、教区会報告書が判断材料となります。来年は、教区事務所や委員会の改選期です。各部の長は、過去2年、委員会の業務がどのよ

うに達成されたかを調査し、今後の2年間、どのような課題を持ち、それを達成しようとしているのかを、来年度教区会報告に明文化していただきたいと思えます。

3. 大聖堂パイプオルガン設置
昨年度の教区会で、大聖堂パイプオルガン設置について言及しましたが、3月11日、東日本大震災が発生し、設置に向けての作業は実施できませんでした。

「パイプオルガンは高価で、かつ、維持・管理費用も発生する。電子オルガンならばその種の問題もないし、パイプオルガンに比較し、格安で購入可能である。」との意見も寄せられております。一方、電子オルガンと比較し、パイプオルガンの寿命は優に100年を超えます。外国のある業者は、「聖堂内の広さを勘案すると、それにふさわしいパイプオルガンの費用は約3,200万円」という数字をはき出してあります。円高の恩恵を受け、3年前の半額の価格です。これに加えて、30年間で維持・管理費が約400万円(年13万円)と想定されます。

パイプオルガンは、礼拝音

楽向上と密接に関係しているという事実を無視できません。パイプオルガンの存在が、聖歌やアンセムの演奏技術向上を促し、これに連動して、聖歌隊のレベルも引き上げられ、大聖堂での礼拝が、より洗練されたかたちで執行されることが大いに期待されるのです。

このような理由から、来年度、主教諮問機関としてパイプオルガン委員会を設置し、オルガン選定作業、購入費用、維持・管理経費などを検討していただき、震災復興募金が一段落する時点を見計らったうえ、常置委員会の議を経て、大口のパイプオルガン募金を行うことへの了承を、教区の皆様にお願ひする次第です。

神戸教区は、多くの問題を抱えつつ、2011年のクリスマスを迎えようとしておりますが、東日本大震災により、愛する人々たちを失った人々、家や職を失い失意のどん底に置かれている人々、福島第一原子力発電所の放射性物質に汚染され、移住を余儀なくされている人々たちのうえに、被災者救援のために日夜奮闘されている人々たちのうえに、神の祝福がありますようお祈り申し上げます。

第(79)定期教区会報告

11月23日(水)午前8時の開会聖餐式をもって、第79定期教区会が開会されました。

点呼及び開会宣言の後、今年逝去された元教役者議員・信徒代議員を覚えて黙祷、中村教区主教による開会演説(2-3頁に全文掲載)、そして諸報告の承認・議案審議と進められました。

3月11日の東日本大震災以降、神戸教区としても救援本部の立ち上げ、そして東日本大震災支援対策室設置など、様々な支援活動が展開された報告がありました。

昼食後、約1時間、4月以降の神戸教区の東日本大震災



質問に立たれる伊神 努司祭

支援活動、そして神戸MTSの働きの実際をDVD映像による紹介がありました。宣教活動の一環として地域や社会に対する奉仕・貢献というところがありますが、そうした活動の一実例としての良き学びが出来たのではないかと思います。

* * *

午後3時から、常置委員選挙、総会代議員選挙が実施されました。選挙後、今年堅信50年を迎えられた35名の方々を代表し、茶園正至兄(高松聖ヤコブ教会)に記念品が中村主教から贈呈され、茶園兄から謝辞が述べられました。また毎年、教区会において食事やお茶を奉仕下さる神戸伝道区婦人会の方々に感謝して、竹内宗司祭が謝辞を述べました。

本教区会に提出された報告及び10議案は、すべて承認及び可決されましたが、ハラスメント委員会設置の件において、ハラスメントの定義などについて活発な意見交換が行われました。時間は要しましたが、率直な討議が行われたことは歓迎すべきことと思えます。

* * *



堅信50年顕彰者を代表して記念品を贈呈される茶園正至兄

上程された議案審議の終了後、教区主事また財務部長など、教区事務所で長年にわたりがご奉仕くださった、神戸聖ミカエル教会信徒の藤谷正一兄に対し、また健康上の事由で、2012年3月末に退職される伊神努司祭に対して、本教区会の名をもって感謝決議がなされ、教区主教が謝辞を述べました。

開会礼拝信施金59、495円の奉献先を、神戸教区災害等緊急支援資金に決定し、一同で主の祈りをささげ、中村主教の祝祷をもって、午後6時に閉会しました。

なお、常置委員及び総会代議員の選挙結果、また議場で指名された教務局長、各伝道区長等については、本誌7頁の教区人事欄をご覧ください。

(小南 記)

2011年度 堅信50年顕彰者 (敬称略)

- | | | | |
|------------------|-------|--------|--------------|
| ペテロ | 井川 弘光 | ペテロ | 有田 一郎 |
| アンデレ | 是枝 毅 | エリザベツ | 西村 郁子 |
| ペテロ | 菅 護 | | (広島復活教会) |
| アグネス | 菅 靖子 | エステル | 小島 訓子 |
| ペテロ | 鮫川 哲朗 | サムエル | 大橋 武郎 |
| エステル | 平野三嘉子 | | (徳山聖マリア教会) |
| アグネス | 河野 純哲 | マーガレット | 豊田 節子 |
| クリステイナ | 丹羽 国栄 | | (浜田基督教会) |
| ルツ | 西浦美智子 | アンデレ | 石野 眞 |
| セシリア | 神田 康子 | | (松江基督教会) |
| | 二宮 まや | セシリア | 塔田 隆江 |
| (神戸聖ミカエル教会) | | | (米子聖ニコラス教会) |
| ベタニヤのマリア | 小南 鈴子 | ルツ | 石崎 節子 |
| アグネス | 法橋 道子 | | (松山聖アンデレ教会) |
| セシリア | 喜多富美代 | ジョージ | 茶園 正至 |
| ヨハネ | 久下 勝章 | | (高松聖ヤコブ教会) |
| (神戸昇天教会) | | バーナード | 安岡 辰雄 |
| ルツ | 佐藤 信子 | | (高知聖パウロ教会) |
| マリア | 坂牛 光恵 | ユリア | 高木喜代子 |
| (神戸聖ヨハネ教会) | | フランシス | 津田 信吾 |
| アブラハム | 谷口 眞 | ナオミ | 松本 公代 |
| (明石聖マリア・マグダレン教会) | | ヤコブ | 山崎 宣弘 |
| ハンナ | 性全 信子 | ミリアム | 木桐万紗子 |
| (岡山聖オーガスチン教会) | | | (徳島インマヌエル教会) |
| ペテロ | 加久清一郎 | | |
| (福山諸聖徒教会) | | | |

高知聖パウロ教会 宣教協議会

教区宣教委員 ヨハンナ 弘 井 宗 子

7月18日(月)に教区で開催された宣教協議会には、高知聖パウロ教会から司祭他5名が参加しました。

そのメンバーが中心となり、10月16日に高知聖パウロ教会で第1回宣教協議会が開かれました。

参加者は28名。「今まで考えたこともないような事も考えてみる!」「自分たちの教会の10年後、20年後を想像してみよう!」を目標に、4つのグループに分かれ、教区宣



教協議会で使用されたワークシートを用いて参加者全員に発言の機会が与えられました。

今回の参加者にとってワークシートの質問は難しいものもあったようですが、普段あまり聞かれることのない、それぞれの思いが表れた話し合いとなりました。

協議会後、私たちの教会のビジョンを決めるためには、少しでも多くの人と話し合いを続けることの必要性を感じました。

そこで、できるだけ多くの人が参加できるように、11月から来年1月まで毎月2回(金曜夜と日曜昼)、協議会をひらくことにしました。

11月に行われた2回目の協議会は、18日(金)は出席者7名、20日(日)は23名でした。

第1回協議会で出された意見を共有し、「教会を取りまく人にとって、教会の活動のやりかた(プロセス)、人材育成、

財政について教会はどうありたいか」をもう一度考えてみました。

今後、3回目、4回目では2016年にはどうありたいかのビジョンを決定し、数値目標を設定、具体的なアクションプランを作成します。最終的には、そこで話し合われたビジョンとアクションプランを2012年度から2016年度末までの五カ年計画として、2月の受聖餐者総会で報告する予定です。

既に、第2回までの協議会では、そのままアクションプランとして実行できそうな意見も提出されており、少しずつですが、よりよい方向への変化をしていけそうです。

この協議会は、今、教会に集まる一人一人が、この教会の将来を考える機会ととらえています。人の意見に否定的な発言をしないというルールの中で安心して発言できる雰囲気を作り、普段あまり発言されない方の意見にも耳を傾け、多くの人が教会を支える一員である自覚を持つことができるための第一歩となるよう望んでいます。

(高知聖パウロ教会信徒)

冬の青年交流会を開催

2011年12月29日(木) 30日(金)に一泊二日で青年達の企画により、冬の青年交流会を開催することが出来ました。

新しい青年会長が選ばれ、これまで以上に青年達が中心となって青年活動が実施されることを期待しています。

青年交流会チャプレン 司祭 ダビデ林和広

青年交流会参加報告

トマス 山本風太

12月29日〜30日にかけて神戸聖ミカエル教会にて青年交流会が行われ、約10名が参加しました。年末の忙しい時期でもあり、参加人数は少なかったですが、充実した一泊二日を過ごすことができました。

今回は、主に昨年度の振り返りと今年度の活動予定、ここ数年不在だった青年会長について話し合いました。

昨年は、東日本大震災や台風の影響を受けた被災地でのボラ

ンティア活動が様々な場所で行われ、多くの青年が参加し、被災地の現状を知って、今しかできない貴重な体験をさせて頂きました。

また、広島市の平和プログラムや中高生大会、青年交流会などの行事がありました。これらの行事は教区・教会を通したものです。特に青年交流会は神戸を中心に行われるので、遠方にいる人はなかなか参加できないのが現状です。不参加が続くと行きづらいうい思おも出てくるかもしれません。話し合いの中ではそのような人たちをつくらないためにも、伝道区内の活動をもっと活発にしていこうという意見が出ました。やはり人との繋がりを保ち続けることが大事なのではないでしょうか。最後になりましたが、青年会長は明石聖マリアマグダレン教会信徒の遠藤洋介君です。遠藤君を中心に青年活動を盛り上げていきます。青年活動をするときには各教会に案内が届きます。次回は、3月に交流会が行われる予定なので、多くの方の参加をお待ちしています。

(呉信愛教会信徒)

東日本大震災関連情報

神戸伝道区

諸教会による 小名浜支援のための 礼拝及びバザー開催



教会前のバザー会場。ホールも賑っています。

各教会で「小名浜支援」募金が呼びかけられ、当日の神戸聖ヨハネ教会での礼拝には各教会から奉献者が出席して奉献しました。

礼拝後、バザーが開催され、献品販売や手品のアトラクション披露、そして松蔭女子学院中学・高校ハンドベル部によるコンサートが催され、多くの来場者が与えられました。(写真上)

献金やバザー収益金502、278円は、小名浜聖テモテ幼稚園及び福島県内の教会付属幼稚園に献げられることになり、一月に小名浜のセンターに現地調整者として向かった原田佳城司祭により届けられました。(写真下)



献金及び収益金は福島の4幼稚園のために献げられます。写真は小名浜聖テモテ幼稚園の園児達。

松蔭女子学院創立一二〇周年 創立記念礼拝・学院祝賀会

1月7日(土)午後3時から、神戸聖ミカエル大聖堂にて、松蔭女子学院創立120周年記念礼拝が、松蔭女子学院中学・高校と神戸松蔭女子学院大学・大学院の教職員、そして神戸伝道区の教役者、約250人が参列して行われました。

中村豊教区主教(院長)による司式、そして奨励を元学長・元院長である荒井章三氏(神戸聖ミカエル教会信徒)がされました。

松蔭女子学院の前身の松蔭女学校は1892年1月8日に、現在の北野町1丁目付近に創立されましたが、荒井氏は創立に尽力したフォス主教や初代校長ビルケンヘッド女史、また資金援助を行ったSPG下部組織のレディース・アソシエイションの働きについて触れながら、最初は私塾のような小さな学校であったものが、現在の同学院にまで成長させられた恵みを「からし種の譬え(マルコ4・30)」を引用して語られ、そして今、同学院に託されている使命をさらに果たして行く



べきことを呼びかけられました。

礼拝では、中学・高校のハンドベル部による演奏、また大学聖歌隊による、聖歌の会衆リードとアンセムなど、生徒や学生による奉仕もありました。

礼拝後はラッセホールにて祝賀会が行われ、交歓の時間が与えられました。

尚、今回の創立記念礼拝は教職員対象であり、対外的な礼拝・行事は9月17日(月・休)に大学チャペルなどで行われ

新刊紹介

司祭の品格

「クロンシュタットの聖イオアン司祭による司祭職への助言」
クロンシュタットの聖イオアン著
信岡章人訳

19世紀ロシアで活躍した聖イオアン司祭の「キリストにある我が生涯」「魂への助言」からの抜粋。ロシア正教会の深い靈性に基づいた「祈りと癒しの奇跡」を聖書箇所とともに記す。個人的な黙想のテキスト、祈りのプレゼントとしても最適。

聖公会出版

1、890円。

神戸バイブルハウス主催 英国巡礼の旅 参加者募集

2012年5月9日(水)~18日(金) 関西空港発着/
定員:40名 費用:298,000円(除く空港税・燃油サーチャージ=67,710円 12/15現在)

主な訪問先: エジンバラ市内巡礼、スコットランド博物館、コベントリー大聖堂巡礼、シェイクスピアの里、オックスフォード大聖堂巡礼・主日礼拝、ストーンヘンジ観光、ウィンチェスター大聖堂巡礼、カンタベリー大聖堂巡礼・礼拝、ウエストミンスター寺院、バッキンガム宮殿など。

団長:中村 豊 主教 (日本聖公会神戸教区)
副団長:松浦信行 神父 (カトリック大阪大司教区司祭)

*詳細・問い合わせ・先行予約は、神戸教区事務所まで

教区諸役員

《日本聖公会総会代議員》

(2013年教区会まで)

聖職 司祭 芳我 秀一
上原 信幸
大東 康人
宮永 好章

《常置委員会》

委員長 司祭 芳我 秀一
書記 司祭 上原 信幸
司祭 小南 晃

大東 康人
宮永 好章
橋口 満

《教区事務所》

(2013年教区会まで)

教務局長 司祭 芳我 秀一
総務部長 司祭 上原 信幸
部長 司祭 東 弘彦

宣教師長 司祭 小林 尚明
部長 司祭 林 和広
司祭 長田 吉史
聖職候補生 池澤 隆輝

財務部長 大東 正人
部長 飯田 恵二

広報部長 司祭 小南 晃
部長 司祭 藤井 尚人
司祭 中原 康貴
司祭 與賀田光嗣

厚生部長

部長 飯田 恵二
信徒役員 大東 正人
大東 康人
東 弘彦
吉谷かおる

《財政委員会》

(2013年教区会まで)

委員長 橋口 満
(伝道区選出委員は未定)

《聖職候補生養成委員会》

委員長 司祭 芳我 秀一
委員 司祭 八代 智
上野 良雄
芝 雅子
宮永 好章

《歴史編纂委員会》

委員長 大東 康人
委員 主教 中村 豊
司祭 竹内 宗
司祭 河村 博之
司祭 與賀田光嗣
佐藤 信友

《神学塾運営委員会》

(2013年教区会まで)

塾長 主教 中村 豊
委員長 司祭 藤井 尚人
委員 司祭 八代 智
司祭 林 和広
司祭 竹内 宗
司祭 原田里香子

《会計監査委員》

委員長 田中 章喜
委員 佐々木稔忠

《宣教委員会》

委員長 司祭 小林 尚明
委員 司祭 瀨山 会治
多井 剛
上野 良雄
広瀬 康恵
佐賀 有道
谷 睦子
弘井 宗子

《チャプレン》

教区婦人会 司祭 瀨山公一
中高生大会 司祭 長田吉史
青年交流会 司祭 林 和広

《伝道区長》

(神戸) 司祭 原田 佳城
(瀬戸内) 司祭 伊神 努
(広島) 司祭 小林 尚明
(山陰) 司祭 平野 一郎
(徳島) 司祭 瀨山 公一
(西四国) 司祭 角瀬 克己

《ハラスメント対策委員会》

委員長 松田 宣子
委員 司祭 角瀬 克己
司祭 原田 佳城
司祭 佐賀 有道
土井 禮子
難波美智子
東 弘彦

《教区審判廷審判員》

(2010年11月〜2014年11月)
司祭 芳我 秀一
司祭 小南 晃
司祭 上原 信幸
司祭 飯田 恵二
清見美耶子
酒谷 寛子

《主教座聖堂参事会》

(2013年教区会まで)
参事長 司祭 上原 信幸
参事 司祭 芳我 秀一
司祭 藤井 尚人
江見龍太郎
大東 正人
原田里香子

《神学生後援会》

(2013年教区会まで)
会長 主教 中村 豊
幹事長 吉田 弘
幹事 覚前 康子
福永 君二

《資産運用委員会》

(2013年教区会まで)
委員長 松田 嘉彦
委員 飯田 恵二
大東 康人
深田 丈二
宮永 好章

《図書室運営委員》

委員長 主教 中村 豊
委員 司祭 小南 晃
大東 正人

《管区届出担当者》

礼拝音楽担当者 原田里香子
人権担当者 吉谷かおる
正義と平和担当者 小林 尚明

青年担当者

司祭 林 和広
祈禱書改定増補モニタ1
荒井 章三

管区宣教協議会

司祭 上原 信幸

《特別委員会》

《広島平和礼拝実行委員会》

委員長 司祭 小林 尚明
委員 司祭 林 和広
司祭 長田 吉史
執行 坪井 智
有田 二郎
河原 和則
橋口 満
浜井 美喜
広瀬 康恵

《パイプオルガン 選定委員会》

(主教諮問機関)
委員長 原田里香子
委員 江見龍太郎
大東 正人

鳩だより 《敬称略》

祝 受 洗

8月21日(日) ヒルデガルト 興賀田 美 詞
高知聖パウロ教会

12月24日(土) サムエル 茶 園 真 悟
高松聖ヤコブ教会

12月25日(日) セシリア 堂 本 千 晴
ヨハネ 内 海 隆
神戸聖ミカエル教会

12月25日(日) ヨハネ 内 海 隆
ローザ 藤 井 苑 子
姫路顕栄教会

12月25日(日) ヨハネ 内 海 隆
クララ 多 和 裕 美
広島復活教会

12月26日(月) マリア 三 宅 万里子
姫路顕栄教会

12月29日(木) ヨセフ 洪 谷 忠 幸
姫路顕栄教会

祝 堅 信

12月4日(日) ベタニアのマリア 岡 本 和 子
米子聖ニコラス教会

12月25日(日) ミカエル 河 野 啓 達
ヨハネ 内 海 隆
エリザベツ 北 中 花
ル カ 浜 田 光
神戸聖ミカエル教会

教 籍 移 動

11月12日(土) クリストフ 荻 原 眞
神戸聖ミカエル教会より

11月20日(日) グレゴリー 徳 増 智
エリザベス 徳 増 容 子
松山聖アンデレ教会より

12月3日(土) ル カ 脇 田 慎 也
横浜教区川崎聖パウロ教会より

12月19日(月) 河 野 啓 達
日本基督教団神戸栄光教会より

神戸聖ミカエル教会へ
マリア 和 泉 淳 子
京都教区京都聖マリア教会より

12月20日(火) ミカエル 野 村 久 道
マカレット 野 村 宏 美
神戸聖ミカエル教会より

12月20日(火) ペテロ 八 代 敬 一
マリヤ 八 代 敦 子
神戸聖ミカエル教会より

12月19日(月) 東北教区 福島聖ステパノ教会へ



ご 逝 去

11月14日(月) ミカエラ 木野喜久子(81歳)
神戸聖ミカエル教会

11月16日(水) ドミニコ 木野 渉(88歳)
神戸聖ミカエル教会

12月12日(月) モニカ 國弘トシ子(86歳)
神戸聖ペテロ教会

12月13日(火) ダビデ 坂牛 八州(67歳)
姫路顕栄教会

12月24日(土) サムエル 茶園 真悟(40歳)
高松聖ヤコブ教会

12月29日(木) ヨセフ 洪谷 忠幸(81歳)
姫路顕栄教会

1月1日(日) マリア 三宅万里子(51歳)
姫路顕栄教会

1月2日(月) マリア 福田 静栄(96歳)
松江基督教会

広島伝道区

◎広島復活教会

12月18日(日)、本年最後のホームレスの人たちへの炊き出しを行った。今回は、カッカレーでボランティア約20名を含め、70人の大食事会になった。

2月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2012年2月9日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 司祭 芳我 秀一
説教 司祭 中道 政昭

* 2月の記念逝去教役者*

3日	司 祭	ハリー・ウッドワード
5日	司 祭	パークレイ F. バックストーン
5日	司 祭	ヤコブ 牧野 與三郎
5日	主 教	モーセ 村尾 昇一
6日	司 祭	竹内 宗六
7日	宣教師	ホノリア J. ウォージントン
11日	司 祭	ヨハネ 中道 政市
12日	伝道師	小南 アサ
12日	伝道師	高木 ぬひ
13日	宣教師	フローレンス M. ファギル
16日	司 祭	ジョージ A. ブライドル
17日	司 祭	ジョージ H. ポール
20日	司 祭	ヨセフ 田中 愛次
23日	伝道師	西村 ひろ
不明	宣教師	アリス・パーカー

3月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2012年3月8日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 中原 康貴

* 3月の記念逝去教役者*

3日	司 祭	F. ケテルウェル
6日	宣教師	アリス・ロバーツ
11日	宣教師	A. オグレスビー
12日	主 教	ヤコブ 八代 崇
13日	伝道師	明山 せつ
16日	宣教師	エリザベス・ナッシュ
17日	司 祭	エリック・アレン
17日	宣教師	F. E. ガーデナー
21日	主 教	ヒュウ J. フォス
22日	司 祭	オリバー H. ナイト
22日	伝道師	ナオミ 広瀬 なおみ
23日	伝道師	ハンナ 田中 ハナ子
25日	伝道師	エリザベツ 億川 三重
27日	伝道師	中尾 ミサヲ
27日	司 祭	ウォルター・ウェストン
29日	司 祭	ステパノ 袴田 観一
30日	司 祭	ヨハネ 粟飯原 亀一
31日	伝道師	マリヤ 阿部 浄